

分野	ため池の補強等		事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(河川応急)	
市町村名	箕輪町	ふりがな箇所名	なか い すじ 中井筋		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~	H26 年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	頭首工 1箇所			H23年度末事業進捗率	0 %	
	H24年度以降実施内容	同上			本工事費等ベース	0 %	
	H24年度実施内容	同上			用地補償費ベース	- %	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残	
	事業費計(千円)	130,000	0	0	11,500	130,000	
財源内訳	国庫支出金	71,500	0	0	6,325	71,500	
	その他	5,200	0	0	920	5,200	
	県債	48,100	0	0	3,855	48,100	
	一般財源	5,200	0	0	400	5,200	
	費用対効果(B/C)	1.2		評価の合計			B
箇所評価	観点	評価項目・指標等		評 価		ランク	評点
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	10戸以上	1戸以上10戸未満	0戸	C	3
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	0箇所		0
		保全対象農地	100ha以上	10ha以上100ha未満	10ha未満		3
		小 計					6
重要性 (15)	水利施設としての依存度	依存度 大	依存度 中	依存度 小	A	7	
	かんがい(排水)受益	100ha以上	40ha以上100ha未満	40ha未満		3	
	防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3	
	小 計					13	
効率性 (10)	防災効果(B/C)	1.2以上	1.1以上1.2未満	1.0以上1.1未満	A	4	
	早期発現度(効果発現まで)	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		2	
	ローカスタンダード(L.S.)計画及びコスト縮減及び代替案検討等	(様式4)3項目以上該当	(様式4)2項目該当	(様式4)1項目該当		2	
	小 計					8	
緊急性 (35)	施設への影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある	A	10	
	周辺へ与える影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある		10	
	過去の被災履歴(河川管理者からの改善要求等)	5年以内に複数回(改善要求書がある)	5年以内に1回(改善勧告がある)	左記以外に被災有(改善勧告なし)		10	
	応急対策の実施状況	応急対策実施中	過去に実施済み	応急対策未実施		0	
	小 計					30	
計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6	
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3	
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		4	
	小 計					13	
事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	中井筋頭首工は、昭和30年代に築造後、平成2年に国土交通省による天竜川の河川改修(拡幅)に伴い更新されたが、約20年が経過し、護床工(上張コンクリート及び木工沈床)の一部が流亡し、残存している護床工が不安定な状況となり、河川管理者より改善命令が出されている。						
地域からの要望経緯	施設管理者である中井筋土地管理組合から町を通じて補強の要望が出されている。						
事業説明等の経緯	施設管理者である中井筋土地管理組合が、事業化に向けた検討、現地調査を行なった。						
環境・景観への配慮項目	設計に当たっては魚類が遡上できるよう魚道を設けるとともに、木工沈床の詰石に現地材を利用してコスト縮減を図る。						
他事業・プロジェクトとの関連	特になし。						
特記事項	国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所長から、平成22年8月23日付け国部整天管20号「許可工作物の施設改善について」の文章が中井筋土地管理組合に通知されている。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他		
部意見	護床工の底部の損傷が著しく、頭首工の決壊の恐れがあることから早急に改修する必要がある。			政策評価課 見	重要性、緊急性が認められる。		